

tokyo

Asuka

あなた
君の輝く瞳に逢いたい…

【あしび】

福山葦陽
東京同窓会
広報誌
2012
06

〈対談・あの時代〉 県女から葦陽へ

〈エッセイ〉 恩師 泉 金雄先生 / 恩師 本田 慧先生

〈母校より〉 全高総文に参加決定!・謡「羽衣」の練習に参加して
インターハイ飛び込みに今年も男女揃って出場!

〈恩師より〉 井上謙二先生[生物]、平松朝美先生[日本史・地理]

〈福山総会レポート〉 葦陽同窓会が楽しすぎる

支部だより・東西南北・写真で見る2012福山スポット

ふくやま・ひろしま・とうきょう情報

NEW 福山

EKIMAE-HIROBA



同窓会本来の役割

福山葦陽東京同窓会会長

來山和義

会員の皆様には、お変わりなく、充実した生活をお続けのことに拝察しています。

平素は、同窓会の活動に格別のご支援を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

只今、同封で「あしび6号」をお届けしますので、ご覧ください。

この「あしび」は、情報伝達的手段であるとともに、会員の交友の輪を拡げ、同窓会の活性化を図る媒体としての役割をも担っていることを再認識いただきまして、何分のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年の同窓会は、福山から、赤松会長、鳥越顧問、母校の篠原校長のほか、各地から多くの方のご出席をいただき、総勢101名で楽しく開催することができました。

総会に続いて開催された懇親会では、会員の多彩な特技が披露され、また会員相互の交流も世代を超えて活発化する光景が散見されて、今後の展開に期待が寄せられているところです。和らいだ雰囲気の下での交流で、お互いの心の中に新たな価値が導入され、その結果、自己研鑽がなされて、その後の行動と交友関係の拡大強化が実現すれば、そのこと自体が同窓会の目指す成果に他なりません。

それとともに、同窓会には、中立的立場で母校の教育的ニーズを支援する態勢を構築すべき使命があると思います。

教育の推進は、常に国家行動の基本であるべきことから、私どもは、国民として、また同窓会員としての両面から、整った教育環境の下で、教師と生徒が、ともに教育に没頭できる仕組みを創り上げること、教師と生徒が、それが次の世代へと引き継がれていくことになれば、それは正に母校への貢献であることから、いま、あらためて同窓会本来の役割の達成に努めたいと願う次第です。

今年の同窓会は、10月14日(日)に、「八重洲富士屋ホテル」で開催しますので気軽に参加して同窓会の魅力を体感し、明日への活力とさせていただきます。

皆様の益々の「健勝」と「活躍」を祈念申し上げます。



福山葦陽東京同窓会 來山和義会長の挨拶

第25回 同窓会出席者 (敬称略)

- 福山会長 赤松 治美
- 葦陽校長 篠原 悦夫
- 東京事務所 小畑 和正
- 豊沢 朝子
- 佐藤美恵子
- S 23 鳥越富美子
- S 24 大村 晶子
- S 25 深坂 米子
- S 26 石藤千代子
- S 27 北中三重子
- S 28 左山 邦恵
- S 29 武田 和美
- S 30 藤野 恭子
- S 31 宮野 紋子
- S 32 竹政 昌子
- S 33 石山 勝子
- S 34 市橋 信子
- S 35 川原 絹子
- S 36 永島 靖子
- S 37 藤井 拓三
- S 38 原田 玲子
- S 39 藤永 健江
- S 40 占部 健夫
- S 41 山本 隆造
- S 42 神田 弘子
- S 43 徳永 麻
- S 44 北村 孝俊
- S 45 蔵本勝太郎
- S 46 松浦 功
- S 47 大土井 晃
- S 48 永島 直子
- S 49 來山 和義
- S 50 塩出 澄子
- 小田 富子
- 神原 弘男
- 森岡 辯
- 柳井 淑彦
- S 31 岩瀬 健祐
- S 32 占部 勲司
- S 33 三島 克紀
- S 34 池田 朗子
- S 35 柳田 幸恵
- S 36 山下 恵子
- S 37 吉井 和子
- S 38 渡辺美恵子
- S 39 小川 敏彦
- S 40 藤井 栄治
- S 41 大神ますみ
- S 42 金子美代子
- S 43 坂田 典子
- S 44 下田ハツ子
- S 45 連石 勉
- S 46 中山格三郎
- S 47 開原 剛
- S 48 伊地 範子
- S 49 吉川由紀子
- S 50 細川ハテミ
- S 51 若林 容子
- S 52 山本 良三
- S 53 渡邊 昌信
- S 54 東 早苗
- S 55 安達千鶴子
- S 56 井上 哲也
- S 57 神原 勝之
- S 58 來山 隼生
- S 59 高田 稔
- S 60 向井 総昭
- S 61 遠藤 宏子
- S 62 唐澤 文子
- S 63 岩瀬 浩造
- 垣原 洋昭
- S 38 升川 澄子
- S 39 坂本 昭博
- S 40 佐久間 定
- S 41 本瓦 定美
- S 42 佐藤 綾子
- S 43 中島美代子
- S 44 田丸佐知子
- S 45 西 直枝
- S 46 神原 郁子
- S 47 坂本 智和
- S 48 廣江 邦男
- S 49 正田 典興
- S 50 黒田真理子
- S 51 木下 照江
- S 52 中山紀代子
- S 53 神 敏子
- S 54 藤井 継道
- S 55 清川 茂子
- S 56 猪原 悟
- S 57 池田由紀子
- S 58 小池 秀子
- S 59 寄國 雅子
- S 60 佐藤 公信
- S 61 寄國 聡
- S 62 相原 謙一
- S 63 長谷川由美子
- S 64 森山 幸代
- S 65 土田 浩司
- S 66 成澤 勝行
- S 67 福島 博行

左頁の写真の説明

①葦陽同窓会 赤松会長の挨拶②福山葦陽高校 篠原校長の挨拶③22年度会計報告④渡邊副会長の乾杯⑤「あしび05」のお礼と説明をする寄國副会長⑥司会を福島さんと中山さん⑦23年卒の皆さん⑧さて本日は何から…⑨今年のアトラクションの景品はすべて東北地方産⑩今年も元気で北海道よりご参加⑪福山より43年卒の藤井さんの飛び入り(円内は今年本部の総会でライブショーの「ザ☆ミルク」。3人の内2人は卒業生)⑫34年卒の皆さん⑬48、50年卒の皆さん⑭27年卒の大土井さん⑮地元福山口ケ映画「少女達の羅針盤」メイキングDVDを観賞⑯来賓の方々と來山会長⑰最初の男子卒業生は25年卒⑱まさに真ん中、36年卒の皆さん⑲32、33年卒の皆さん⑳37、38、39年卒の皆さん㉑40年～43年卒の皆さん㉒35年卒の皆さん㉓30年、31年卒の皆さん㉔25、26、27年卒の皆さん㉕42、44、45年卒㉖「島山の」をみんなで斉唱㉗いつまでも爽やかに県女校歌「紅匂う」を㉘高田副会長の閉会の挨拶と、来年のご案内でお開き



第25回福山羣陽東京同窓会

♪島山の みどりを抱き
かぐわしく 常ゆたかなる
瀬戸海は われらのいのち～

♪紅匂う 光きららに
朝日耀ふ 城山松の
下枝に照る 薨ぞ我等～

昭和
28年卒

固い『絆』の同窓



東京二八会 がんこ銀座一丁目店にて(前列右から2人目)



早朝の笠雲

今井照明 (昭和28年卒 船橋市)

■私は、77歳の後期高齢者です。我々東京二八会の会員は毎年5月に銀座に集い、福山、京阪神からの参加者も合流して呑み食い談笑し、60年前の懐かしい青春を取りもどす事が出来るのは、素晴らしい「絆」の賜物です。

さて、私の日頃の生活は、日の出前のウォーキングと20歳の頃からの趣味のカメラ仲間・写真を通しての知人グループ写真展巡り、地元公民館と船橋市立医療センターのロビーと癌ケア病棟に「心の癒し」になる写真の展示や、行きつけの床屋にも展示したりのボランテニア活動をしています。

また、地元の小学生にデジカメを使った体験学習授業を行い、初歩からの実技指導をしています。そして地元自治会の活動を通しての交流、写真クラブに所属して毎月の撮影会。その後の懇談会等、充実した毎日を過ごしております。

撮影は個人行動が多く、車に寝袋、鍋食材を積み込み富士山周辺で冬期マイナス数度、車中4〜5泊、車を林道に止めカメラを設置し、日の出前から一刻と天空が激しく変化していく瞬間をシャッターで切り取つての富士山撮影が、ボランテニア活動するための作品作りの活力源となり目標です。

そして常にプラス指向で外で自由に動けるのは、最愛の妻があるからで、妻に感謝し、私に関わるすべての人々に感謝の気持ちをもって行動したいと願っております。

これが私の「元気の源」です。

昭和
33年卒

スポーツと私

藤井栄治 (昭和33年卒 横浜市)

■小さい時から運動が好きで城北中学に入学すると陸上部水泳部に入部。陸上は川崎先生、水泳は相川先生に厳しく鍛えられました。

高校では陸上競技部に入部。最初は短距離、走り高跳びを行い、途中で棒高跳びに転向。グラウンドの道具小屋の傍らの砂場で毎日夕方まで練習をしました。サッカー部・ラグビー部もいつも練習されてきました。各部の同期生の皆さんお元気ですか、お会いしたいです。私は練習の結果三年生の時、棒高跳びでインターハイに出場、田口先生に同行して頂き富山陸上競技場で跳躍したのが一番の思い出です。

ところで、現陸上部の皆様調子は如何ですか？ O B会を開催し、先輩後輩の皆様様にお会いしたいですね。大学も4年間陸上をやり国立競技場等で競技会をしていましたが、社会人となりスポーツは止めました。最初の会社に41年、再就職で8年働き2年前に退職しました。

運動する時間はたっぷりありますが、今は鶴見川の土手を1時間くらいの散歩と、昔の同僚と時々ゴルフをしています。スコアはメタメタで仲間にも申し訳なく恥ずかしいです。練習してもこの歳ではスコアアップは無理かな？

では総会で皆様にお会いできることを楽しみにしています。



当時の陸上競技部員。後列真ん中左より中尾先生、田口先生、児玉先生。私は前列右端



3年生の時、棒高跳びでインターハイに出場(富山陸上競技場)

昭和
35年卒

「スイカの種」がスイカになった

吉川由紀子 (昭和35年卒 日野市)

■東京で土いじりをするなどは想像も出来なかったのに、15年ほど前から家庭菜園にはまってしまうました。夫の実家はいなかです。農家ではありませんが畑があり、昔、帰省したある時スイカの種を買っておいでと頼まれました。お店で見た「スイカの種」を見て驚きました。あの食べる時べつべつと捨てる種ではありませんか。今は当たり前と思いますが、その時の驚きは忘れられません。こんなにも植物に疎かった身ですから、野菜作りなんて縁遠いと思いついていたのです。ところが、そんな私が植えたタネでも、ちゃんと芽が出て実がなるのです。興味にそそられて、何でもかんでも植えてみました。花を咲かせた後、伸びた先が地面にもぐりあの殻付きのピーナツが出来ると知った時も「スイカの種」以来の驚きでした。

無農薬で真っ赤に熟れたトマトをもぎ取って口にしておいしい。オクラの花の清楚な白い花、それも一夜限りで。野菜作りは手間のかかる作業ですが、育ってくれるうれしさや、3歳の孫と一緒に大きなスイカを抱える楽しさなど、私のいのちを充実させてくれる大切なものになりました。



孫とつとる「種のおくりもの」



いのちいっぱい家庭菜園

昭和
40年卒

『まだ現役です!!』



日経リフォーム博
展示会、左から2
人目



旅行先で、夫と

西 直枝 昭和40年卒 海老名市

■昨年『高齢者』の仲間入りを致しましたが、現在の所まだフリーランスのインテリアコーディネーターとして仕事をしております。専業主婦で仕事経験の無かった私が仕事を持つようになって四半世紀余り、家庭とのバランスを取りながらでしたが、お客様のお役に立って喜んでいただけた時が何よりの喜びで仕事を続けております。

結婚後、各地を転々とし神奈川県に舞い戻って間もなく父の死、マイホームの建設、長男の中学受験と目まぐるしい2年間の後訪れた平穏な日々は、ぼっかりと穴の開いたような感覚がありました。子育てを終えた知人が時間を持て余しているのを見るにつけ、自分もやがてはそういう時が来る事を思い知り、今なら何か出来るのではと一念発起、インテリアスクールに通い資格を取り、思い切った就職、現在に至っています。

転勤族だった故、同窓会も過去形で知るようになっており、葦陽同窓会とはもう一生ご縁が無いものと思っておりましたが、帰省時に合った友人が連絡を取って下さって『東京同窓会』に参加させていただくようになり5年目になるうとしております。

そろそろ老後の過ごし方を考えなければならぬ時期にきておりますが、『東京同窓会』はその1ページを担ってくれるのではないかと思っております。

昭和
45年卒

私の趣味は



ブリッジクラブで国際親善



スポレートの音楽祭で歌う妹の敬子

澤村育子(昭和45年卒 国立市)

■今、トランプ競技の「コントラクトブリッジ」に、ハマっています！ 2008年の北京オリンピックには、頭脳オリンピック5種「囲碁・ブリッジ・チェス・チェッカー・シャンチー」として行われました。

26年前、主人の駐在地、バンコクの日本人会で教わり、以後、帰国してからも、その時の仲間と月一度集まり、食事会の後、プレイを楽しんでいました。長年ご一緒しているうちに、どうせやるならもっと強くなりたいと思ひ、一念発起で6年前から四ツ谷にあるブリッジセンターで講習を受け直し、以後週に3日程、ブリッジクラブでプレイしています。

昨年は妹、亀川敬子(ナポリ在住/オペラ歌手。葦陽高校100周年記念等で歌わせて頂きました)の住むイタリアに友人と行った折、ローマのブリッジクラブでイタリアの人達とのプレイが実現しました。日本と違って開始時間が夕方5時半からと8時半からの夜の遊び。日中は市内観光、夕方からはブリッジで国際親善と、充実の一日でした。また、妹のお陰で昨年は初めて歌劇場の演奏旅行に家族として同行し、ミロのビーナスの背景ともいわれるスポレート町の町の、抜けるような青空、澄んだ空気、緑の木立に囲まれた古い教会の広場でのコンサート鑑賞出来、楽しい思い出となりました。

そして「私の夏は毎年こうして過ぎていくのよ!!」という妹が、とても眩しく思えました。次回訪伊する時まで、もっとブリッジが上手になっておきたいものだと思っています。

昭和
50年卒

まだまだ楽ができない



常念岳に登る私。初雪の日に当たり、ちょっとびびってます

内田 功(昭和50年卒 横須賀市)

■昭和50年3月卒業の内田功と申します。小学校3年生の夏休みに川崎から引越越し、大津野小学校に転校しました。学校と伊勢丘の団地、登校時は40分、帰りは何時間かかったでしょう。昆虫を追っかけたり、造成中の山でダムを造ったりと、泥だらけの毎日でした。中学校、高校は軟式庭球、軟式野球、ガールフレンド、まさに青春ドラマそのものの熱い時間を過ごしました。大学は関東に戻りましたが、文学部というより合気道部にどっぷりつかり、青春ドラマを引きずったまま、高校の国語の教員になりました。

20年近く高校に勤めた後、当時の特殊教育センターで長期研修をし、養護学校教員、教育センターの研修指導主事、教育委員会の養護学校開設準備担当などを経て、現在は神奈川県立の養護学校で教頭をしております。

教頭というと机に張り付いて事務管理の仕事ばかりしているイメージがありますが、児童生徒と関わる機会も多いので、動きの活発な子どもたちに置いて行かれないように、週一のテニス、月一のスカッシュや登山で体力の維持に努めています。今までの登山の最高峰は日本第2位の北岳でしたが、この夏、小学生の次男写真…私の後でゲームしていますが、日本のてっぺん富士山に登ります。3000m級から遠ざかって何年にもなるので、ちょっと心配…。お孫さんがいる同級生もいるのに、まだまだ楽ができない56歳です。

県女から葦陽へ。

創立106年の歴史の中の混沌とした時代を語って頂きました。

県女/昭和22年卒
豊沢 朝子さん

南高校/昭和25年卒
原田 玲子さん

南高校/昭和25年卒
占部 健夫さん

葦陽/昭和40年卒
聞き手 田丸佐知子さん

●写真・文/寄國 聡(45年卒) 6月23日 六本木「レストラン SINGAPURA」にて



昭和22年に「教育基本法」の制定により新制高校が発足。小学区制、男女共学制、総合制(いわゆる高校三原則)のもとに福山も東高等学校と南高等学校の2つに統合、再編成されることになった。この頃に多感な青春時代をおくってこられたお三方に、その当時のお話をお聞きしたいと思います。

※1 昭和22年に現在の6・3・3制の学校体系ができる。旧制中学校誠之館中学(高等女学校葦陽の前身は現在の中学1年)高校2年にあたる
※2 誠之館中学が新制福山東高等学校に、高等女学校が福山南高等学校(葦陽校舎)となる。現在の高等学校にあたる



原田 私は結婚で昭和30年に上京しました。

占部 私は横浜の大学を出てここの会社に勤めてずっと今まで。家は横浜にあつて昭和20年に疎開で福山に行き誠之館中学に入りました。両親は福山の出身だから。疎開した先で空襲にあつちやつた(笑)。
豊沢 同じく昭和26年に結婚で東京に来ました。

◆現在はどうなことを?

占部 定年で退職して20年。今年81歳。定年前から趣味でバードウォッチングで世界中を駆け回ったよ。特に環太平洋の鳥を追っかけ回すんですよ。写真ももちろんいっぱい撮ったし、20年も鳥とつき合っていると、こつちの仲間の方が長くなるね。25年卒はよくまとまっ



豊沢 ていて、以前は年に4回集まっていたんだけど、今は2回になった。当時の誠之館の仲間

もいて、だいたい10人から15人位、男ばかりでただの飲み会ですよ(笑)。
原田 いろいろのことをやっていたのですが、今は合唱団で細々とコーラスを続けております。

豊沢 私は無趣味です(笑)。趣味と云うほどではないけれど新聞キ○ガイです、切り抜きが趣味かな。やっぱり戦争を経験しているし、今は原発とか、放射能が気になるでしょう。

◆皆さん、在学中は…

豊沢 昭和17年に県女に入学して、まさに戦時中で3年生の頃は被服廠といつて学校が工場になって軍服のボタン付けとか、穴かがりなどの手仕事をやっていた。

原田 勉強どころではなかったのよ。占部 三菱電機に男は随分行ったよ、旋盤やら、みんな分かれて行ったよ。

豊沢 県女からも三菱電機に行った学年があります(20年5年卒・23年卒)。
原田 私たちは2年の時に、飛行機を隠す網を作り工場へ行きました。福山市内の人には二交替で朝6時から12時までと、12時から6時まででした。市外の人には朝8時から5時までノルマ

があつて、競争でした。
占部 そんな中でも楽しみは…
豊沢 昭和17年には、校内に弓道場があつて、弓道大会で全国で優勝したのよ。私は選手じゃなかったけどね(笑)。70年史にその時の写真が載っています。そして戦争も激しくなつて学徒労働員で勉強どころではなくなつた。周りに知的なものなんて何にも無くなるでしょう。だからせめて本を読み、文や短歌、詩を書いて仲間と回し読みをしました。そのための下書き用ノート(日記併用)…自分でもビックリしましたが空襲の時、このノートだけは持って、必死に逃げたんです…今、これを開くと、7/24日 被服廠、神辺と田尻へ疎開、8/8日 福山空襲、県女は1棟のみ焼け残り、10/8日 授業再開(二部授業とは言うものの、跡片付け、農作業等でまともな授業は無し、その卒業が近づき、1年上(16年入学)と同じに4年卒業と思つたら国の都合で「5年卒業でもいいよ」と言われ、各自の都合で分かれました。でも元々同学年ですから、今でも(21・22年卒として仲良くしています。23年卒・24年卒も、県女だけで卒業した人と新制高校まで行った人がいて、卒業年度が違つても一緒にクラス会をやつていらっしゃるようよ。

誠之館の名簿にもダブつて載っていますね?

占部 それぞれ卒業はしていない



戦時中は女学生も(海洋訓練に召集され)手旗信号、モールス信号、カッター漕ぎなどをしました。前列右端は引率の高升キミ先生(昭和19年8月 山口県大島の大島商船学校)



全国の女学校の弓道大会で優勝。後列右から4番目が豊沢さん

創立70周年記念誌と100周年記念誌「悠久の譜」



※3 創立70周年を記念して発行された記念誌。この対談も補足的にこの2誌からの資料を引用させていただきました



けど両方の同窓会や同期会、同窓会の作品展に参加している人もいますよ。こうしてお互いに学校の垣根を越えて、今でもつき合っているんだ。若い人から見れば不思議な感じだろうな。

原田 複雑ですが、この時期の同窓生、同窓会はややこしいんですが、みなあまり気にしていません。

占部 あの頃は5年間行っただけでしょう。今は3年だからすぐ分かれてしまっただよ。中学から高校まで一貫の学校のように6年行けばみんな顔が分かり、気心を知りやすくなるんだよね。昔に戻った方が良いね。

— 学校の方もその方がやりやすいのではないのでしょうか？ 私学はそれをやっているんだから。

◆戦後の学校生活は…

— 空襲で校舎は焼けたようですね。
原田 1校舎だけ残って、後は全部焼けたの。同窓会館も寄宿舎もすべて。
豊沢 その焼け残った校舎で私たち4年生と1年生が二部授業でした。

原田 その頃私たち2、3年生は、どろんどろんのそばの樹徳小学校の講堂を白い帆布で4つに区切って、午前と午後の二部授業でした。帆布ですから隣の教室の先生の声がよく聞こえました。翌年の1月からは隔日日出校、2年生は火・木・土になり、21年4月からは被服廠倉庫跡に通学することになり

ました。大体2年位いたと思います。—では県女はいつまで？

豊沢 昭和20年3月は5年卒(昭和15年入学)と4年卒(昭和16年入学)があり、昭和21年4年卒と昭和22年5年卒は、入学は昭和17年の同期です。昭和23年は5年卒(昭和18年入学)。

占部 昭和24年3月に県女の最後の卒業式があつて、たしかその後すぐ5月に新制度で高等学校になった。福山西高校というのもあつたようですね。

原田 24年の5月に南高校になる前の2週間だけ西高校だったんです。
豊沢 70年史によると「誠之館が東高校なら、県女だけで西高校に…」と陳情などして4月16日西高校になったのに、4月30日には「工業と一緒で南高校」となった…とか。

◆なぜ高校を2校に？

占部 戦後に今までの小学校(国民学校)の後の旧中学校と旧高等学校を単純化して、新制の高校を卒業した者が大学に進学するという学校体系を作ったんだな。福山に男女共学、普通科という同じ性格の高校が2校(誠之館と葦陽)出来るので学区で振り分けた。高校を統合する前に新制中学校が

半分と沼南地区が同じ学区に、他の東半分は誠之館へ。区域外の生徒はそれぞれの出身地の高校へ通うことになったんです。そして普通科の高校の誠之館が東高校、県女の普通科、家庭科と福山工業の工業科とを併せた高校が南高校に変わった。当時は南高校葦陽校舎と野上校舎と言つてたようです。

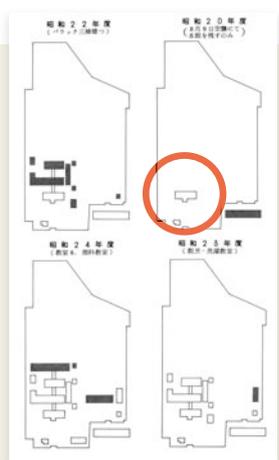
◆南高校になってからは…

占部 昭和24年。私らは旧誠之館中学の最期の卒業生で、昔は5年で卒業だったからね。そして南高校の第1期生で3年生に入った。25、26、27年が南高校と言つた。その頃の写真があるんだけど、ほら野球のユニフォームにSOUTH(南)と書いてあるんだよ。これは27年頃だったかな、写っているのは私の先輩。今の葦陽高校の校章も当時の南高校の「M」をデザインしたものです。

— 横文字をよく使えましたね。
占部 終戦後だもの(笑)。サッカー部のユニフォームはどうだったかな？

— 男女共学になってクラブ活動が盛んになるとグラウンドが狭かったでしょう？
占部 葦陽校舎はグラウンドが狭いのので、硬式野球はできなかった。野球やるヤツはみんな工業にいった(笑)。だけどね、軟式野球はできたよ。運動会もできたし、文化祭で仮装行列なんかあったよ。

原田 南高校の頃になると戦後のイ



20年8月の空襲で校舎を焼失。本館のみ残る



原田 豊沢 福山の西

原田 南高校の頃になると戦後のイ



グラウンドはソフトボールができるくらいはあった



文化祭の仮装行列



胸には「South 南高校」の文字が(昭和27年頃)



写真の裏には福山南高等学校葦陽校舎、シャッター同好会の印が



新制南高校としてスタートするとき校章が制定された。外部の線は、Mを3つ合わせてミナミを表し、中の二つの葉は、芽生えた若葉のたくましい生命力と豊かな生長への憧憬を象徴したものであった



26年に落成した体育館兼講堂。27年の国体のバスケット会場になった



島県福山葦陽高等学校となった。だから28年3月卒の来山和義会長のところまでが南高

豊沢 28年4月に工業と分かれて広島県福山葦陽高等学校となった。島県福山葦陽高等学校となった。島県福山葦陽高等学校となった。島県福山葦陽高等学校となった。

等学校となった。だから28年3月卒の来山和義会長のところまでが南高



失礼ですが、皆さんあまり勉強する機会がなかった。失礼ですが、皆さんあまり勉強する機会がなかった。



今年も県女、葦陽、誠之館の「仲間たち」は元気に集い語りそして楽しく呑む。同期とはいつの時代もこうありたいものです(毎年恒例の新宿御苑での花見 昭和24・25年卒)

◆いつから『葦陽』高校に…

原田 当時の文部大臣が森戸辰男さんと言われる方で、福山出身だったから広島県が他の県より早く共学になったと聞いております。他の県は25年位からなったんだけど。結局葦陽高校になったのは28年4月から。県女同窓会にゆかりのある「葦陽」という名称をつけたようです。

◆いま、あの頃を思うと…

豊沢 あの頃の私たちは、丁度戦争の申し子のようなものね。お前たちが一番勉強させてもらえなかった学年だと言われた先生がおられた。戦時中は外国語は教えると言われていたので、先生自身も悶々としておられたのでしょうか。

原田 そうだと思えます。男女共学になってから男性がしっかり勉強される様子を見て、女性も少なからず刺激を受けたのだと思います。



当時、福山駅前にあった公会堂での英語劇の顔ぶれ(昭和24年) 前列左より2人目が三谷昇さん、右端は原田玲子さん。後列右端は友竹正則さん

占部 たまたま誠之館から来た連中が優秀だったんだよ(笑)。そして、いよいよ葦陽高等学校の時代が来るのですね。

原田 28年に葦陽高校になってからのことはわからないけれど、私たちの頃と同じように自由な校風は続いたようですね。

占部 もう60年近くも前のことであるの当時のことは少し忘れたけれど、当時の仲間や、学校生活や先生のことは今でもしっかりと記憶に残っているよ。同窓会や、同期会は『心の繋がり』を再確認させてくれるね。



たのに、上の学校に行かれましたね。勉強させてもらえなかったので、戦後、焼けなかった京都で3年間学び、補足出来たようで…幸せでした。

メージも大分消え、学生生活も充実し楽しい高校時代を過ごしたように思います。あまり勉強した訳ではないのに結構優秀だったんだと思います。



占部 男女共学と言ってもほとんど男ばかりのクラスや、女ばかりのクラスと、男女混合のクラスがあって、ホームルームの後は授業は別々。理系と文系と言ったこともあったんだらうね。あの当時、南高校には男子便所が無くて、職員用のが1つあっただけで校庭でムシロかなんかでこうちよいつとね…(笑)。でも転校してきた男子生徒も混乱もなく、落ち着いてしまえば結構楽しかった。先生も東高校から南高校に転任して来られたようです。

原田 私たちは25年卒南高校の第1回生ですけど、もう1年上の方(18年入学、23年卒)がもう1年高校にいらって卒業され、新制高校1回生と言っているのですね。



松

風騷ぐ丘の上 古城よひとり何俤ぶ
三橋三智也の歌が聞こえてくると
福山の高校が懐かしく俤ばれた。

旧制高等女学校の敷地は狭かった。運動場には一部、福山城の石垣が張り出している、小藩なれど殿様や家老や侍が不撓の魂を生徒たちに見せつけているような感じがした。校舎は木造長屋が何棟もあつて渡り廊下で繋がっていた。お粗末な安普請だった。そんな学苑に、高校生たちの、知的で清廉で質が高くて抑制のきいた、いい雰囲気

昭和20年(1945)8月15日、日本は米英を主とする連合国との戦いに負けて占領軍の施政下におかれ、戦勝国の意のままにあらゆることが変革された。その一環に教育制度があり、学校教育の「制度」も「内容」も有無を言わずアメリカ好みに変えられた。『六・三制』である。

昭和23年、旧制中学校は新制高等学校に改造され、「高校三原則」によって男女共学となり、福山市は旧制誠之館中学校があつた地域と旧制高等女学校があつた地域の二つに分けられた。旧誠之館中学校に通つてきた新制高等女学校に異動させられ、女学校に通つていた生徒の約半分が誠之館中学校の校舎に通うことになった。

『懐かしいあのころ』

福山南高等学校元教諭

泉 金雄(東京府中市)



私は新制高校発足間もない昭和26・27年の2ヶ年、この学校に新卒の社会科学教諭として勤務した。このたび「あしび」からの原稿ご依頼を有難くお受けし、最も山陽道らしく最も瀬戸内らしい、何かしら気怠いようななま温かさの漂う、遠い「ふくやま」のムードを想起する幸せに浸っている。

当時、3年生男子は殆ど全部が、誇りぞ高き誠之館に入学した連中だった。心ならずも県女に回され「俺たちは婿養子だ」と

ことだろうと思つた。

戦災を受けた福山には飲み屋や小料理屋はまだ復活していなかった。学校には「宿直(夜警)」があり新卒の私はよくやらされた。うまくしたもので、そんな晩にはどこからともなくお酒がきて意気軒昂たる酒盛りとなった。また、可愛い女生徒が食べたこともない美味しいご馳走を届けてくれたり、親分の田口先生がラグビー部OBを引連れてきて「テツマン」になったり、草木も眠る真夜中に3年のやんちゃな奴らが「勉強で疲れたので来ました」と忍びこんできてひと騒ぎしていつたり、結構楽しい「宿直」があつた。今なら懲戒処分になるようなこともあれこれやつた。「青い山脈」や「高校三年生」が流行る前の素朴な人情と大らかな

ロマンが鷹揚に流れていた城下町福山だった。鈴木校長先生や和田教頭先生(スーンさん)からお叱りをうけたことは一度もなかった。鶏内先輩にはよく説教された。挙句、お見合いまで命令された。

初任校の印象はいつまでも新鮮で懐かしい。83歳、今もほのぼのと蘇ってくる。旧制県立校の伝統と栄光の息吹を汲む、葦陽高校と東京同窓会のご隆昌を心よりお祈りしています。

慧(さとる)と読むの男の人に間違われるの、珍しいでしょうか?

本田 慧先生は「ホンダ慧星」で知られた世界的アマチュア天文家、故・本田 実氏の夫人であり、県女時代、葦陽高校の恩師でもあります。

福山高等女学校(県女)に昭和18年に赴任。戦後の混乱の中、昭和28年まで勤務されました。昭和29年から岡山県立青陵高校へ転任。昭和44年まで同校に。高校では担任の生徒のために弁当作りをしたり… 自分の子供の事より生

徒の方を優先するほど… 昭和44年から山陽学園短期大学教授として、昭和61年からは佐保幼稚園(奈良佐保短期学園附属幼稚園)園長として90歳まで教育一筋の人生。

現在は倉敷で一人暮らし、ご長女が定期的にお世話をされています。時折、教え子からの便りに励まされ、おだやかな日々を送っていらっしゃるようです。そして99歳になられた今もお元気です!



ほんだ さとる 本田 慧 先生

恩師 せんせい!

第36回 全国高等学校総合文化祭(富山大会) 美術、工芸部門参加決定！



石井桃子さん

第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会)美術、工芸部門デザインの部の
広島県代表として3年生の石井桃子さんの参加が決定しました。

石井さんは、昨年度、広島県高等学校デザインコンクールで「広島ホームテ
レビ賞」を受賞し、その後広島県高等学校総合文化祭美術、工芸部門の選考審
査を経て、広島県から美術、工芸部門としては10人(内デザイン部門では4人)
の一人として選抜されました。

今年の8月7日から9日まで富山県民会館等で開催される美術、工芸展や総
合開会式に参加し、美術、デザインの研修を深めたり、他県や他校の生徒との
交流を行う予定です。石井さんに今の気持ちと決意を述べてもらいました。



選出作品 一人ぼっち(アクリル)

美術部に入って1年生の時は、楽しければ何でもいいという安易な考えで絵を描いていました。
真剣に取り組んではいましたが、特にこれといった作品は描けませんでした。

2年生になり、後輩ができ、少しではありますが絵に対する気持ちが「楽しければいい。」から「も
っと上手に絵を描きたい。後輩に『すごい』と思われるような絵を描きたい。」に変わりました。そして
昨年夏休み明けからコンクールに向けて絵を描き始めました。最初はポップでカラフルで元気な絵
をイメージしていたのですが、エアブラシ(絵の具をスプレーして色をつける技法)作業中、絵の具が画面に垂れてしまい、おどろおどろし
い絵になってしまいました。そこからイメージを変え、白黒のシックな、でも温かみのある絵に仕上げました。失敗が転じてとても良い作品
になって、賞まで頂けることになり、自分の運の強さ、発想の転換をするきっかけに自信が持てました。

これからも、自分の力を信じ、たくさんの作品を描いていきたいと思えます。

美術部3年 石井 桃子

芸術鑑賞

謡「羽衣」の練習に参加して

◆1年2組 井上 実佐子

今回、謡「羽衣」という演目を体験させていただきました。

6月に初めての練習を行い、月1回の限られた練習期間での発
表となりますが、呼吸法や発声、歩き方や座り方、扇の持ち方など
全てが知らないことばかりでした。ゆっくりとした動きも簡単そう
に見えて、姿勢を保つのは難しいものでした。最初の頃は難しく
感じましたが、先輩方や先生方と一緒に練習していく中でたくさ
んのことを学び、積極的に取り組むことができました。

「能」「謡」という、あまり身近に感じることもなかったことが、今
回の体験を通して色々発見することで日本の文化に対して興味
が深まったと感じています。これからも日本の伝統芸術、伝統文
化に積極的に触れていき、新しい発見とともに自分自身が成長し
ていきたいと思えます。

◆2年1組 若井 綾乃

芸術鑑賞で能「羽衣」を上演すると聞き、私はとても嬉しくて
「謡」の出演者を生徒から募集すると聞いた瞬間、「是非参加した
い!」と思いました。日舞の師匠であった祖母の影響もあり、演劇
やミュージカルを習い、将来舞台に関わる仕事にと考えるよう
になりました。今回参加したのは、「能」を間近で観たり、出演したり
して日本人本来の奥ゆかしさ、美しさを感じたいと思ったからで
す。二度目の練習は大島能楽堂での練習でした。立ち居振る舞い
や独特な調子の「謡」を丁寧に教えてもらいながら、普段出来な
い「能」の厳かな空気の中、練習が進んでいきました。日本人が大
切に守り続けてきた「能」がどうして現代まで伝えられてきたの
か、体験することで少し分かったような気がしました。芸術鑑賞の
舞台では、葦陽生代表として日本文化の素晴らしさを「能」を通
して伝えることができると思います。

◆3年4組 宇野 里依

私は「謡」の発声と普段の発声の違いに驚きました。練習を始
めた頃はあまり上手に出来ませんでした。練習を重ねるにつれ



てコツをつかんでいくことが出来、発声練習だけでなく、「謡」をす
る時の所作についても教えていただきましたが、一つひとつの動き
に無駄が無いように意識して練習しました。大島文恵先生は真剣な
眼差しで指導してくださり、先生の「能」に対する想いはとても強い
ものだと感じました。だからこそ、限られた少ない練習の中で真剣に
学ばなければならぬと思ひました。

本番では緊張感をもって、練習の成果を出し切り、観衆に「能」の
素晴らしさを伝えることができるよう頑張りたいと思えます。

謡を指導して下さいるのは、喜多流大島能楽堂の大島
文恵さん。平成8年福山葦陽高等学校卒業。現在、妹の紀恵
さん(平成11年卒)と共に学校での能授業や、体験学習に
積極的に取り組み、能の普及と啓蒙に努めておられます。



◆謡(うたい)とは、能の音楽に当たる部分のこと。またそのみを謡つこともいう。

インターハイ 情報



2012
北信越かがやき総体
平成24年度全国高等学校総合体育大会



3年生
新良貴 優さん



2年生
寺岡 双葉さん



1年生
宮上 茜さん

飛び込み、男女3人インターハイ出場!!

昨年のインターハイで2種目を制した飛び込みの新良貴優さん
と、2年連続で出場の寺岡双葉さんと1年生の宮上茜さんの3人
がインターハイに出場。新良貴さんは「追われる立場の今年は
重圧がある。みんな自分と同じ高レベルの技を飛ばす。姿勢や入水
などの細かい技術を高めないと勝てない」と気を引き締める。



我が家の庭で

井上 謙二 先生
[生物]

私は昭和34年4月から昭和51年3月までの17年間福山葦陽高校でお世話になり、私の教師生活の中で最も充実し、最も長く勤務した学校です。生徒諸君や同僚の先生方にも恵まれ楽しい日々でした。この間修学旅行の引率も何回かいたしました。その中で今も心に残る幾つかのエピソードをお話いたします。

昭和33年頃までは男子は九州方面女子は関東方面へ、それ以後は男女を問わず希望で関東と九州へ出かけましたが、昭和38年から関西方面へ全行程を貸切りバスで向かうようになり、昭和39年の夏、高野山・吉野・比叡山方面へ出かけた時のこと、8台のバスが大阪市内で、信号にかかり先導車を見失った後続の車が道を間違え、なんと前方から戻ってきてすれ違うハプニング。昭和43年に広島県でインターハイが開催され葦陽高校も会場となり、修学旅行は翌年の3月に、44年9月の南九州旅行は台風襲来のため12月に延期。私のクラスは最後尾でえびの高原を進んでいた時、単車が突然飛び出して接触、バスは路肩をはみ出す寸前で急停車し危うく難を逃れました。夜の霧島温泉では各クラスがそれぞれの出し物をステージで披露。大隅半島を南下し九州最南端佐多岬灯台へ、指宿の宿から開聞岳へ、山は美しかったです。

昭和46年7月高山から乗鞍岳を越えて松本へ、折から大雨の後、道は工事中、運転手は果たして通れるかどうかを検討し、大丈夫との結論で決行。途中前方からのバスと交差、左は断崖絶壁で左先頭の席にいた私は谷底しか見えず生きた心地はしなかった。万座の宿では、生徒諸君と一緒に湯で裸の会話が弾んだ。日光では地元観光課からお祭りに参加要請があり、夜の踊りに全員で参加し大いに満喫した。昭和50年9月志賀高原熊の湯温泉を拠点にし、グループで自由に散策するという画期的な修学旅行を試みた。この時の生徒達の生活態度が素晴らしく、宿の主人が「今日でもこのような高校生がいるとは」と感激、この日誕生日を迎えた生徒に大きな「こけし」をプレゼントしてくれた。帰路長野からは4組つつの2隊に分かれ、先発隊は名古屋城見学、後発隊は善光寺を見学して列車に乗った。私は後発隊にいたが松本駅で本校の生徒10名ばかりがプラットホームに立っているのに驚いた。ジューズを買いに降りて取り残されたとか。葦陽高校時代の楽しい「コマ」でした。



昭和45年卒の皆さん。蕎麦打ち会。蕎麦打ち名人を迎えて、私の旧宅にて



昭和37年卒の皆さん。傘寿の祝。バーベキューを私の旧宅の庭で囲む



卒業生(S49年)と仙養ヶ原でキャンプ(S50.8)



太極拳表演会初出場(H22.10)



女子バレー部(S46年卒業生)と県大会出場時

葦陽高校東京同窓会の皆さん、同窓生の集りやつながりを大切にして下さい。どんなに故郷を遠く離れていても、ふるさとの原風景やふるさとの言葉が発するニュアンスや香りは、身体にしみついて決して離れることにはないものです。「ふるさと」に触れることは、単なる懐かしさというだけでなく、癒しや活力を与えてくれます。福山葦陽東京同窓会をますの発展を祈念して！

私は今年67歳になります。だいたい悠々自適といったところでしょ。うか。週に1回、太極拳の練習に通っています。縁があるものですね、葦陽高校の卒業生に習っています。そして、月に1回老人センターで話をさせてもらっています。適度な緊張感、刺激、運動を保ちながら暮らしていきたいと思っています。

葦陽での9年間は、私にとっては中身の濃い充実した年月でした。多くの生徒たちとの出会いがあり、互いの価値観がぶつかり、重くのしかかる雲囲気を共有したこともあります。キャンプ等ですごく楽しい時空の共有もありました。それもこれも皆、私にとっては宝のような体験であり、成長の糧となったものです。教員として私の『原点』がここで培われたのです。いい生徒たちに出会ったものです。今後ともその卒業生たちとの付き合いを継続していきたいと思っています。

平松 朝美 先生
[日本史・地理]



昨年の福山総会に出席して

『原点』 葦陽高校は、私が教員生活を歩み始めた最初の学校です。1969年(昭和44年)4月、胸の高鳴りを感じながら校門を入って行った時の情景は今でも鮮明に憶えています。以来9年間お世話になりました。担当した教科は社会科(日本史・地理)でしたが、生徒の皆さんには女子バレー部の「鬼コーチ」としての印象の方が強かったかも知れません。当時、葦陽高校は自由な雰囲気のある学校で、生徒たちも大らかであつたと思います。私も、若さ故の勇み足も多々あつたと思いますが、かなり自分なりにやりたいと思う事はさせてもらつたと思っています。授業をやめて、福山城へよく散歩にも行きました。担任を持つようになってからは、毎年のようにキャンプにも行きました。クラブ活動女子バレー部も相当頑張つたと思っています。本当によく頑張つたのは生徒たちですね。厳しい練習に耐えその上結果を出しているのですから。



オープニングはいつも素晴らしい葦陽高校吹奏楽部の演奏から



スポットライトとともに備後蔵王太鼓の力強い太鼓の音が

2012葦陽同窓会 総会を終え



昭和50年卒
西谷雅利実行委員長

「葦陽同窓会が楽しすぎる」、
何とも無責任なテーマを掲げた
実行委員長でした。頼もしい皆
さんに助けられ、私の想い描いた
総会を実現することができ感無
量です。

愛校心は初めからあるわけ
ではありません。創っていくもの
です。○○くん、○○ちゃん、先
輩・後輩の垣根を越え、楽しみ
ながらお手伝いさせていただけ
たことは、2012年当番幹事の
自慢です。みんな本場に最後ま
でよくやってくれました。
一年間(以上かな)本当にあり
がとうございました。



ザ☆ミルクを囲んで当番幹事他の皆さんで記念写真

楽しすぎる。



2012年6月10日(日)
福山葦陽同窓会



永遠の校歌「紅匂う 光ざらに～」

いつまでもお元気で出席されますように

最高齢の昭和15年卒の炭田富子さん

6/10
report

報告！ 楽しすぎた総会

6月10日(日)福山駅前前の福山ニューキャッスルホテル
で、福山葦陽同窓会総会が開催され、来山和義会長と
一緒に参加して参りました。今年の当番幹事は昭和50年、
55年、平成元年。西谷雅利実行委員長は私の出身・旭小
学校の同級生です。そんな縁もあり「あしび」へのカンパ
のお願いの時間を取っていただき「あしびは情報や記事、
誌面のアイデアを寄せていただきたくことで出来ており、
本部をはじめ各支部の皆さんに感謝します」とお礼も
述べることができました。

総会のあとの懇親会はこの誌面で紹介しきれないほ
どの「絆」を感じさせる内容でした。笑顔に包まれた会
場を順を追って紹介します。

まずは恒例の葦陽高校吹奏楽部による演奏。そして
20分の休憩をはさみ、暗くなっていた会場にスポットライ
トとともに、備後蔵王太鼓の力強い太鼓の音で、改めて
懇親会が開幕。葦陽野球部のユニフォームを着た司会の
森谷公一さんが「皆さんを必ず楽しませます」と選手
(司会者)宣誓。来賓はOBの開原彦修福山市副市長を
はじめ、県議会・市議会のOB議員の皆さん。元葦陽校
長前原幸三先生の乾杯の発声とそれに続く司会の成本
直美さんの独唱で食事もスタート。

しばらく歓談の後には、平成14年卒の砂田明日香さん
と塚本愛さんに大阪出身の、ゆりこさんを加えた3人
組ダンスボーカルユニット「ザ☆ミルク」による「プチコン
サート」。若さあふれる歌と踊り、ステージを飛び出した
3人に会場はノリノリ。終了後、その場でサインした
CDの販売会では赤松治美会長ほか大勢の応援団が囲
んでいました。

フィナーレは次回の当番学年の昭和51年、56年の有志
がステージに。次回実行委員長の藤井洋光さんの決意の
挨拶。しっかりと意思を受け
継いでくれているようでし
た。そして最後は福山高等
女学校の校歌斉唱に続き
福山葦陽高等学校の校歌
斉唱、来年の再会を約束し
てお開きでした。

昭和50年卒 福島博行



会場で多くの方々より「あしび」にカンパを頂戴致しました。心より厚く御礼申し上げます

(写真提供：2012福山葦陽同窓会実行委員)



宣誓！
皆さんを必ず
楽しませます！

司会の元年卒
森谷公一さんの
選手(司会者)宣誓！



かねてより念願の福山葦陽同窓会旗
が初お目見え



第36代校長に着任された
藤井悦子校長



支部を代表して東京同窓会
来山和義会長の挨拶



元葦陽校長の前原幸三先生の
乾杯の発声の後、司会の成本直美
さんの独唱



葦陽同窓会の牽引者
赤松治美会長の力強い挨拶



葦陽同窓会が



ザ☆ミルクに花束を贈ったのは平成
14年卒、同期のプロゴルファー
(トーナメントプレーヤー)藤井伸一
さん



平成14年卒
塚本愛さん

平成14年卒
砂田明日香さん

大阪出身の
ゆりこさん

ザ☆ミルク

母校の同窓会のステージに立てるなんて
夢のよう、応援して下さい



その場でサインの
CDの販売



ノリノリのステージはザ☆ミルクの一人舞台(?)

最後は恒例の全員で校歌斉唱

来年も盛会の 総会になるよう

次回総会実行委員長
昭和51年卒 藤井洋光

今年度の実行委員長の西谷雅利
さんをはじめ当番学年の皆さんに
は大変なご苦労に感謝致しまし
た。私たちも先輩方に負けないよう
に取り組んで参りたいと考えており
ます。

私たちは、今年度の同窓会総会
とは、少し趣を変えて従前通りで
はないにしても記念講演を取り入
れてみたいと思っています。まだテ
マは決まっておりませんが、実行委
員会の中では、講演者は決めており
ます。例年の出席者の年齢層や男
女比率などを分析した結果、人生
観、心、哲学など含めた内容での講
演にしたいと考えており、何かひと
つでも心に残る言葉や生きる抜く
コツなどが出席者の皆さんの思い出
になればと思います。

来年は6月16
日(日)総会・懇
親会を予定とし
ております。会場
は今年度と同様
福山ニューキャッ
スルホテル3F
光輝の間です。



当番学年の昭和51年、56年の有志がステージで
団結力の証しを見せる

近畿 支部

今年は、9月30日に…

近畿支部が2年に1回同窓会を開催する年です。今年のビッグイベントは、元全日本サッカー監督、石井義信氏（32年卒）の講演です。準備委員会の熱望に超多忙のスケジュールを調整して下さい、快くお受け下さいました。

開催場所は、小中節夫さん（30年卒）が長年の人脈を生かされてホテル阪神10F『ボールの間』で9月30日（日）に開催致します。交通の便に恵まれたJR福島駅から徒歩1分の所です。

会員一同、石井氏のとっておきのエピソードや、男子ワールドカップアジア最終予選、なでしこジャパンの大活躍などの話を期待しています。福山、関東方面の同窓生にも連絡を取り、盛大な同窓会となるよう役員一同はりきっております。

また石井氏の講演がきっかけで今回は、同窓生で海外旅行100カ国以上経験されている会員のお話や、作家の方のお話が候補に上っていてこれからの同窓会も盛り上がりゆくことと期待しております。

近畿にとどまらず広く全国からの参加をお待ちしております。

近畿ブロック同窓会会長 昭和32年卒 宇田成徳



準備委員会の皆さん



32年卒
石井義信さん



「あしび04」サッカー対談

広島 支部



於 ANA クラウンプラザホテル広島



『驚き・感動』

広島で生活する福山葦陽高等学校の卒業生で楽しく交流をはかることだけを目的とした、福山葦陽広島同総会第9回を、昨年12月11日（日）に開催しました。

また、福山本部の赤松会長にもご出席をいただき、賑やかな同窓会を開催することができました。

今年のアトラクションは、マジックショーを行い、1枚のお金があつという間に数十枚にもなったり、なにも書いていない紙にあつという間に素敵な絵が浮かびあがってくるなどを見て、『驚き・感動』を、参加者全員で共有することができました。その後、近況報告や昔の話に花がさき、大いに盛りあがりました。

昭和58年卒 兼田直樹

ちょっと
した

《お知らせ》

来年の4月19日(金)～5月12日(日)に広島で全国菓子博覧会が開催されます。「人々を幸せにするお菓子のちから」をPRし、来場者に夢と感動を与える展示や国際色豊かな催事を実施するとともに、「知る」・「見る」・「食べる」・「買う」をキーワードとした展示・催事の実施などにより、来場者満足度の向上を念頭に置いた博覧会が開催されます。いまから、大変楽しみです。この機会に、是非広島においで下さい。

開催場所：旧広島市民球場跡地、広島県立総合体育館とその周辺

ひろしま菓子博 2013



歴史の町 八幡に住んで

八幡

昭和28年卒 遠藤 信子(京都府・八幡市)

こ は京都府南西部、木津川、宇治川、桂川が合流して淀川となるほとりに位置して、水運の便と大坂京都を結ぶ地の利のもとに発展したようです。八幡は2万年前の石器時代にはすでに先人が生活していた痕跡が発見されています。貞観元年(八五九年)に格式のある石清水八幡宮が造営され、その門前町として栄えたと伝えられています。昭和52年に八幡市が誕生しました。又、八幡宮の境内には、八幡の竹と電球との縁で発明王エジソンを記念して石碑があり、彼の生誕地として知られる米国エリー湖近くのマイラン村と友好都市となっ

ています。若い頃、五大湖辺を旅行した折に、偶然に立ち寄ったマイラン村の博物館で、八幡とのつながりを知りびっくりした思い出があります。先日東京での同窓会にお誘いをいただき、半世紀を越えて皆様とお会い出来ま

したことは感慨深く嬉しいことでした。在学中は体操部員として体育館で共に汗して動いたことを懐かしく思い出します。縁あって30年余り前から気功太極拳を習い、「生きることは動くこと」と教えられ導かれて、近隣の方達と健康寿命の延伸を祈って励んでいます。「心をこめるところに血が通い、気が流れ、気血の流れが充分であれば健康を保つことが出来る」と学び、日々継続は力なりを信じて、深長呼吸で心身の統一と浄化を、仲間と共に念じながら、後期高齢者の今を、すべてに感謝して生きる力としています。

先日東京での同窓会にお誘いをいただき、半世紀を越えて皆様とお会い出来ま



お庭も一緒に

福山から九州福岡へ

福岡

昭和45年卒 田中裕二(福岡県・福岡市)

故 郷福山から、九州に來て早や?と言っていたのか43年が過ぎました。思えば中学の修学旅行、高校の修学旅行も九州でした。その流れが大学も九州、就職も九州に求めました。東京本社の会社でしたが、福岡勤務を条件に採用(今ではとても考えられません)。その後も異動話はありませんが、九州内での転勤に留まり退職しました。『住めば都』と言いますが、住む前から何か不思議な縁があったような気がしますし、自分の五感に色々な面で合っていたのではないかと思っています。

現在の住まいは、福岡の東区雁ノ巣で、スポーツの盛んな地域で、プロ野球のソフトバンクホークス、サッカーのアビスパ、ラグビーのコカコーラなどがあります。自分は高校時代ラグビー部でしたが、現在は地域で盛んなフットボールをしており、クラブチーム3、地域チーム1の計4チームに所属し、月曜、金曜は練習、日曜日は試合と学生時代のクラブ活動のような日々を送っています。何か辛く、厳しい感じですが、仲間と汗を流し、体力の限界?を確認し、充実感を味わった後の冷えたビールは格別で、何度味わつても最高です。今年の1月〜3月まで、南米のボリビアを旅してきました。アンデスの山々、チチカカ湖、ウユ塩湖、アマゾン雨林地帯、カーバルなど、初めての景色、体験に感動し、多くの人と知り合う、のんびり、ゆったり、のびやかな一人旅もしてききました。今後も続けられるよう、体力維持は心がけたいと思っています。

現在の住まいは、福岡の東区雁ノ巣で、スポーツの盛んな地域で、プロ野球のソフトバンクホークス、サッカーのアビスパ、ラグビーのコカコーラなどがあります。自分は高校時代ラグビー部でしたが、現在は地域で盛んなフットボールをしており、クラブチーム3、地域チーム1の計4チームに所属し、月曜、金曜は練習、日曜日は試合と学生時代のクラブ活動のような日々を送っています。何か辛く、厳しい感じですが、



ボリビア チチカカ湖/葦の浮島



オルー口のカーニバル(南米3大祭のひとつ)▶



宅地販売のチラシに誘われて

加古川

昭和48年卒 横井啓夫(兵庫県・加古川市)

加 古川の近辺は芦田川の近くに住んでいた頃の雲囲気に似ていて、懐かしい感じがするねー。今から23年前、当時住んでいた神戸で見た宅地販売のチラシに誘われて初めて加古川に來たときの家内の一言。福山育ち(葦陽53年卒)の家内と意見が合い、現地販売事務所ですぐ契約しました。

その後、仕事の関係で何度も転居し、13年前に加古川に戻りました。今は転勤が無い外資の会社に転職し、ゆったりとした加古川の田舎暮らしを家内、長女、愛犬と満喫しています。これまでの36年の会社員生活で15回ほど転居しましたが、印象に残るのはジャマイカとシンガポールです。ジャマイカでは初めての海外生活で多くのカルチャーショックを受け、世界の広さを知りました。シンガポールでは世界

その後、仕事の関係で何度も転居し、13年前に加古川に戻りました。今は転勤が無い外資の会社に転職し、ゆったりとした加古川の田舎暮らしを家内、長女、愛犬と満喫しています。これまでの36年の会社員生活で15回ほど転居しましたが、印象に残るのはジャマイカとシンガポールです。ジャマイカでは初めての海外生活で多くのカルチャーショックを受け、世界の広さを知りました。シンガポールでは世界



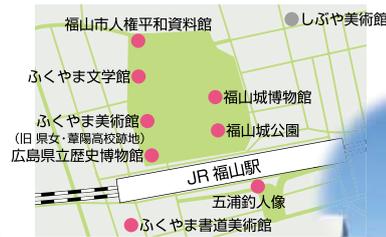
愛犬と散歩の途中

写真で見る 2012 福山スポット

福山市は1916年(大正5年)に市制施行。2003年2月に内海、新市町、2005年2月に沼隈町、2006年3月には神辺町と合併し、現在人口約47万人、市域は約520平方キロメートルとなり、市制施行時(5.8平方キロメートル)から約90倍に拡大しています。中国地方では広島、岡山、倉敷市に次いで4番目の都市規模に成長。市政施行100周年に向け『100万本のばらのまち福山』を目指し花壇の整備が進んでいます。大きく変貌をとげ、ますます発展する福山市を観光スポットを中心に写真で紹介します。(資料提供:福山市発行「ふくやま」より)



福山駅周辺エリア



●福山駅前の「五浦釣人」像
名誉市民の平柳田中作



●県立歴史博物館は「草戸千軒遺跡」の展示や瀬戸内の歴史と文化が学べます



●ふくやま文学館は作家、井伏鱒二を中心に郷土ゆかりの文学者の足跡を顕彰します



●福山城趾とリンクする新しい公園型のふくやま美術館は旧葦陽校舎跡地です



●福山市人権平和資料館は、人権の確立と恒久平和の実現を考えあう資料館です



●ばら公園には約5,500本のバラが咲き乱れ「福山ばら祭」のメイン会場となります



●緑町公園は「ばら」を中心とした総合公園です。330種、約5,100本のばらが咲き乱れます



●福山自動車時計博物館は往年のなつかしい自動車や時計、生活用品などを展示



●天守閣の内部は、歴代藩主の遺品、資料や考古・歴史資料などを収蔵・展示しています



●弘法大師の開基と伝えられた明王院は本堂、五重塔とともに国宝に指定



●福山夏祭りには二上がり踊りや仕掛け花火約10,000発が夜空を彩る



●福山城公園で盛大に開催される秋の風物詩。香り高い豊富な菊がずらりと展示



●福山市は全国的にも書道が盛んな町。地元の作家の作品を所蔵しています

◆福山市はあなたがいた頃とはずいぶん変わりました。ぜひ福福の際に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

●葛原しげる童謡歌碑
♪ぎんぎんざらざら夕日が沈む～



●菅茶山をはじめとする文人や神辺町ゆかりの画家達の作品を収集・研究・展示する記念館



●806(大同元)年創建の吉備津神社の本殿や木造狛犬は国の重要文化財に指定されています



●市街地の北西15kmにある福山市立動物園は、57種約350点の動物を展示しています



●素葺鳴神社(すさのおじんじゅ)。茅の輪伝承の起りを伝える古くからの社です



●吉野山公園。春には1,000本の桜、梅雨時には600本のアジサイが咲き誇ります



●しんいち歴史民俗博物館。備後紘の歩みや製造の流れを学ぶことができます



●神辺本陣。江戸時代に参勤交代の大名が休泊した施設で、当時の姿を今もとどめる



●岡本太郎デザインのあしあと広場のあはきもの博物館。現在も松永は下駄日本一



●はきもの博物館



●山野峡(龍頭の滝)天に昇る龍が地上に玉を吐く姿を形容して名づけられたといわれている

調べてみよう!
うずみ

福山市の郷土料理「うずみ」は、江戸時代の倭約政治により、ぜいたく品とされた具材をご飯で隠して食べたのが始まり。福山市では初の食ブランドとして「福山うずみごはん」を市内で食べられるお店のマップや、レシピ集を作り、多くの方に味わって頂けるようPR中です。さぞどんな「うずみごはん」があるか調べてみませんか。

●まだまだ紹介しきれないほどの施設や観光スポットが福山市にはいっぱいあります。詳しくは福山市の観光課や観光協会のホームページなどをご覧ください。



●日本郷土玩具博物館。その土地、土地に伝わる郷土玩具を展示しています



●ゲタリンピック。巨大ゲタさばき、ゲタと備後畳表の競技や多彩なイベントが繰り広げられます



●阿伏兔観音



●内海フィッシャリーナ。最新設備を備えたクラブハウスがあり、136隻を収容できる



●クレセントビーチ。青く穏やかな海、真っ白な砂浜は夏のリゾートに最適です



●平成元年に完成した内海大橋は、本州と島を結ぶ重要なアクセスルート。全長832m



●みるくの里は遊園地をはじめ、プール、美術館、温泉、宿泊施設などを有する総合レジャーランド



●めくまハーブガーデンはラベンダーなどのハーブや、四季の花が1年を通して楽しめる



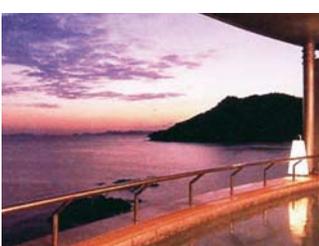
●能登原とんど。高さ10メートル、派手な飾り付けが美しいとんどは無形民俗文化財に指定



●平成いろは丸



●常夜燈の近くのいろは丸展示館。江戸期の蔵がそのまま展示館として使われている



●鞆の浦温泉。歴史と潮待ちの港町にたたずむ心安らく良質なラドン温泉です



●鞆の浦弁天鳥花火大会は海上に映える多彩なイルミネーション。港町ならではの情緒



●沼名前(ぬくま)神社は鞆の祇園さんともよばれ「須佐之男命」が祀られています



●中川美術館は故宮に伝わる名品や中国国宝級の一品から現代絵画まで多数収蔵

OPEN



NEW!

広島ブランドショップ

たう?

2010年7月に閉店した広島県のアンテナショップが広島ブランドショップとして7月16日に銀座1丁目のビルの地下1階～地上3階にオープンしました。店名は「tau(たう)」。「たう」は広島弁で「手が届く」を意味する。

運営は、県と福山市鞆町のホテル鷗風亭他を経営する、鞆スコレ・コーポレーション。湯崎知事は「tau(たう)の意味は首都圏の人たちには分からないと思うが、何だろうと関心を持ってもらえるように一生懸命にPRをする」と力が入っています。ロゴマークの両端には瀬戸内海の翡翠(ひすい)色をイメージした円を配置。県産品や観光情報などの「広島のお宝」が、手が届く所に提供される様子を表現したそうです。1階フロアは広島県の「おいしい」ものと一緒に集結! 2階は熊野筆/ひろしまの酒/お好み焼きのスペースになっていて、西城秀樹さんのパネルがお出迎え。3階イベントフロアは広島カープやサンフレッチェ広島の試合をスクリーンに映し出し、ライブビューイングやイベントが行われる予定。また、この横に併設されているのがイタリアンのお店、瀬戸内の食材を使った本格イタリアンを食べることができます。地下には瀬戸内ダイニング「遠音近音(おちこち)」。店内は鞆の浦・尾道・竹原の古い町並みなどをイメージ。待ちに待ったブランドショップがオープンし、銀座にいなながら広島が堪能できます。

3F



広島「宝」をPR/イベントスペース&カフェ

2F



広島の伝統/工芸と食のショップ

1F



瀬戸内の恵/特選品、食材ショップ

B1F



瀬戸内ダイニング「遠音近音(おちこち)」/レストラン

おい! tau SETOUCHI HIROSHIMA/HPより



東京同窓会会場(八重洲富士屋ホテル)のすぐ近く

〒104-0061
東京都中央区銀座1-6-10
銀座上ービルディング
営業時間/10時から20時
●最寄り駅
東京メトロ有楽町線: 銀座1丁目/徒歩3分
JR山手線: 有楽町駅/徒歩5分



知らんじゃろー 福山の歴史

紹介



中山 善照 さん
(なかやま・ぜんしょう)

- 主な著作
- ・歴史物語「水と炎・水野勝成」
- ・ふるさと未来ビジョン「みにくいアヒルの子・福山」
- ・まんが物語「福山の歴史」
- ・まんが物語「出逢いの海・鞆の浦」
- ・まんが物語「神辺の歴史」
- ・まんが物語「笠岡の歴史」ほか

- 水野勝成は徳川家康のいとこ
 - 水野勝成は「日向守」?
 - 蝙蝠山=福山?
 - とんど祭は城が誕生したお祝い
 - 潮待ちの港、鞆ってどういう意味?
 - その昔、福山県があった など
- 福山人でありながら知らない故郷の歴史を漫画で分かりやすく紹介。必見!!

昨年10月、福山市津之郷町のコピーライター中山善照さんが、福山城を築城した初代福山藩主水野勝成(1564~1651年)の活躍を描いた漫画「福山の歴史」を復刊した。初版から26年ぶりに、装いも新たに上下巻を合冊し再版。

勝成が福山藩主として1619年に入封し、徳川幕府の西国安定の拠点として現在地に福山城を築いて町をつくり、上水道の敷設、ため池の築造、新田開発、イ草生産の奨励など多くの功績を残したことを分かりやすく描いている。そしてとんど祭の本質も実に面白く紹介されている。

まんが制作のきっかけとなったのは「人と人の出会いだ」と中山さんは語る。「あるときホテルのバーで、林 忠敬先生(あしび5号で紹介)と音楽談義に花を咲かせていたんですよ。忠敬先生の話は博識をユーモアが包んでじつにおもしろい」と、そこに通りかかったのが松岡病院の院長・松岡 巖先生。松岡先生は大の音楽好きで忠敬先生とは知己の仲、やあやあ一緒に、ひととき3人で音楽談義が弾んだ。

しばらくすると、松岡 巖先生は突然、「福山は文化不毛の地だ!」と怒りの噴煙をあげ、「ローターアクターを鞆に連れて行った。鞆はどうなっているのだ!! あれほど歴史遺産と風景に恵まれながら...」。その後松岡先生の「噴煙」はややおさまり、「子供の時から地域の歴史を教えよう。福山の歴史の絵本をつくらう。どう思うかね?」

中山さんは「先生、絵本もいいけど、いっそ漫画に...」と答えたら、松岡先生、「漫画できるのか?」「できますよ。」「じゃやってみる...」こういう経過でロータークラブの援助を得て漫画制作がはじまった。中山さんは言う。「人と人との出会いは不思議なもの。林 忠敬先生と一杯飲っていないと、あの漫画はできていなかったでしょうね。」

※ローターアクター ロータークラブの青少年活動の組織
松岡 巖先生はロータリアンです。



上下巻合冊版
まんが物語「福山の歴史」

「出逢いの海 鞆の浦」



「神辺の歴史」

ふくやま・ひろしま・どうきょう情報

恩師/久替成治、平松朝美、永谷英成 福山葦陽同窓会 福山総会幹事有志 福山S45有志 福山S50有志 S9/小山佳代 S10/片山敏子 S11/岡田ミドリ S15/高岡翠子 S16/河毛俊子 S20/井上八千代、延平季子、角田昌子 S21・22/佐藤美恵子、平 都、武田美津子、豊沢朝子、高木基子、藤井真美 S23/石藤千代子、北中三重子、高比良欣子、左山邦恵、鳥越富美子、辻 礼子、国保貴世、宮野紋子、武田和美、大村晶子 S24/永島靖子、石山勝子、市橋信子、川原絹子 S25/藤永政江、占部健夫、山本隆造、原田玲子 S26/池田幸子、谷畑陽子、安部隆子、徳永 巖、松浦 功、橋本文子 S27/横田冷子 S28/永島直子、下 博行、片岡禮子、小林博子、稲垣裕彦、來山和義、渡部洋子、長島志津子、江田林太郎、岡本照隆、藤村豊祐、羽原雄二 S29/小丸順子 S30/中垣亮子、池本郁子、小田富子、小土井敏隆 S31/岩瀬健祐、岡崎信之助、前原一夫、滝口義英、石川玲子

5号に
カンパ頂いた方々です。

皆様からの資金カンパのお蔭で本号を発行することができました。

本来は、お一人おひとりにお礼状を差し上げるべきところですが、諸般の事情により誌面を借りて厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

福山葦陽東京同窓会会長
來山 和義

S32/石井義信、植草和栄、増田和子、浅井憲龍、池田朗子、柳田幸恵 S33/小川敏彦、丹下和幸、藤井栄治、西原伸子 S34/佐藤凡雄、連石 勉、大原米子 S35/山本良三、渡邊昌信、真田和恵、吉川由紀子、細川ハテミ、田治正光、若林容子、伊地範子、今福義弘、村上 光 S36/高田 稔、向井総昭、東 早苗、加藤公恵、川端美枝子、松田恵子、井上哲也 S37/斎藤節子、今井昭人、高橋淳美、遠藤宏子、唐澤文子 S38/三吉伸子、升川澄子、梶原登茂子 S39/中島美代子、佐藤綾子 S40/神原郁子、西崎道子、西 直枝、田丸佐知子 S41/山田京子、吉岡清八郎 S42/由井由美子 S43/藤井継道、中山紀代子、木下照江 S45/小池秀子、小野田 久、佐藤公信、池田由紀子 S47/福島育枝 S48/長谷川由美子、加藤和子 S49/篠塚康孝 S50/松若文子、土田浩司、成沢勝行 S52/和田晶子 S53 楠本秀裕 S55/吉岡嘉尚 S59/芦川恵子 (卒業年順、敬称略 2012年6月17日現在)

※その他多くの方からもカンパを頂きました。心より感謝申し上げます。

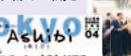
【創刊号】表紙
旧校舎跡にある記念碑



【2号】表紙
旧校舎、同窓会館の大楠。いまも堂々と



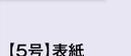
【3号】表紙
フィナーレはいつも校歌斉唱でお開き



【4号】表紙
頼の「いろは丸」展示館を望む



【5号】表紙
福山駅前の青空



※4号、5号のみ若干の予備があります。ご希望の方はご連絡下さい。お送り致します。

福山本部
事務局より

本部事務局
☎084-982-5139

抱腹絶倒!
『備後弁
かるた』

お問い合わせは
キシマ印刷
☎084-923-3415
(啓文社全店扱い)

●第2回 福山葦陽同窓会作品展のお知らせ

『作品展を通じ、懐かしい人との再会、新たな発見が見つかるかも!!』

昨年初めての作品展を開催し、出展者の皆様にも、来場者の方々にもご好評をいただき、今年も開催するはこびとなりました。

●日時:平成24年9月25日(火)～30日(日)

午前9:30～午後5:00 ※最終日は午後4:00まで

●ふくやま美術館 ギャラリー・ホール

今年は母校の美術部、書道部、写真部も出展致します。

●あの“備後ばあちゃん”が“備後弁かるた”を作った

RCCラジオ、土曜日朝の番組で活躍中の“備後ばあちゃん”の愛称で知られる原田芳子さん(昭和34年卒)が備後弁かるたを作り、話題になっている。読み札は「いたい」「くべる」「たわん」など方言が満載だ。廃れていく備後弁への思いが制作のきっかけになり、イラストはめで北海道旭川のイラストレーターのKEIKOさんが担当。「大きな声で読んで、備後弁を感じて欲しい」と呼びかけている。



●フレグランス[fragrance]を楽しむ

香りを手軽に、身近に楽しめるイタリアのMillefiori®(ミルレフィオーリ)のフレグランス=香水・オーデコロン・石鹸・ボディパウダー・室内香料などの芳香性製品=の日本総代理店として全国の有名店で展開している(株)エトランジェ・ディ・コスタリカは、本部福山同窓会の顧問、鳥越富美子さんのご子息が経営されるお店です。この春には、表参道ヒルズ店、二子玉川高島屋店などがオープンしました。



Millefiori®
MILANO

写真は
新宿高島屋店
☎03-6380-6351

奇遇!
お好み焼き
「海音(かのん)」

海音(かのん)
☎03-3486-9392

●表参道の喧騒から離れ「お好み焼き」を味わう

根津美術館から根津坂を下ったところにある「鉄板焼き・話食 海音(かのん)」は表参道、青山の喧騒から抜け出たようなお店。広島風お好み焼きがおいしい! マスターのお父様は葦陽高校千葉清士元校長(昭和53～55年)。丁度移転時に新しい校舎の配置問題で尽力されたとのこと。まさに奇遇! 是非一度お立寄り下さい。



●有りそうで無かったご当地ラスク!

福山市鞆町の特産品である「保命酒」ベースのペーストを表面にぬり、ラスク特有のサクサク感を醸し出すために、フランスパン生地をじっくりと焼き上げた“らすく”です(アルコール分は含まれておりません)。保命酒を使うことで程よい甘さと、たくさん食べても飽きのこない味に仕上げられています。この“ふくやまらすく”を食べて、誰もが「(幸)福の山」を感じて頂ければと願います。(川口/藤井製パン所)



“ふくやまらすく”
完成

藤井製パン所
☎084-953-0343

※記事に関する詳しいお問い合わせは、あしび編集室までご連絡ください。

《企画テーマ、投稿大募集!》

『あしび』に掲載する記事を募集しております。取り上げて欲しいテーマなどもございましたらいつでもご連絡下さい。お便り、ご意見、ご感想などもお寄せ下さい。

●送り方 お名前と卒業年度、ご住所、お電話番号をお書きになって下記まで送って下さい。(絵画、工芸などは作品を撮影した写真をお送り下さい)

●宛先 〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-19-2 矢鳥ビル5F
(有)ビッグパン内 あしび編集室 宛
TEL 0422-52-3049 携帯 080-3401-0814(寄国)
FAX 0422-52-1596
e-mail: syorikuni@gmail.com

うずみ
ちゃん



新しい福山のキャラクター



住所等の変更もこちらにご連絡下さい。

福山駅前—2012



2012年3月 新しく整備された福山駅前。バスターミナルとタクシー乗り場、地下送迎場などを整備 ①モニュメント(今こそ未来)②復元保存された石垣③福山繊維ビル跡地に建つ再開発ビル「アイネス フクヤマ」。店舗、ホテル、マンションが入る。下の写真は懐かしい頃の駅前風景です。当時は偲ばれます(写真提供:福山市)。



昭和30年前半の駅前南口
広い駅前には軌鉄バスセンターがあった



昭和40年代の福山駅前
天満屋の屋上には懐かしい遊具が



解体前の福山繊維ビル
その昔は結構活気があるビルだった

「天満屋」の思い出

◎ 昭和36年卒 高田 稔

昭和38年の夏休み、実習で某ゼネコンの広島支店設計部にて、初めてプロの設計の現場に接しました。

親切なスタッフから初めて与えられた作業が、福山天満屋の「設計データ」のまとめでした。思いもよらぬ「福山天満屋」の実施設設計図をみることで、少なからず興奮したことを思い出します。当時はまだ工事中で、竣工は恐らく昭和40年頃ではないかと思えます。

上の中央の写真がその天満屋で、当時の福山駅前のランドマークとなっていました。今では平らになった箕島も一部に顔をだしています。周りには大きな建物はありません。

今の天満屋(上の大きな写真)はその後また建て替えられたものです。

オリンピックを機に日本中がパツと明るくなり、華やいた気分になったこの時代までが、私の福山の記憶のほぼ最後で、東京以来、年に一度程度しか帰福せず、今日に至っています。昭和40年にタイムスリップした気持ちで当時の風景に入り込みました。

tokyo Ashibi 06

平成24年8月31日発行(年1回)

発行人/ 来山和義 (S.28)

編集長/ 井上哲也 (S.36)

編集/ 福山華陽東京同窓会役員会・幹事会

編集協力/ 福山華陽東京同窓会本部事務局、近畿・広島支部、福山華陽高等学校各学年幹事、同窓会会員、福山市東京事務所、福山市

編集後記

福山の話題が盛りだくさん6号になりました。ここから新しくなった駅前をはじめ、改めて「ふるさと」のことを考えてみる良いきっかけになったのではないのでしょうか。福山市が大きく変わろうとしている今、遠くから見つめるだけでなく、時には応援したり厳しい意見を言うことも福山人として大切なことだろうと思います。今後の変貌に大いなる関心をもってほしいものです。

福山駅前の写真 [06]

駅前整備の工事中に発掘された福山城の石垣の一部が保存されています。この場所をどのように整備するのか、また新たな公園にするかなど地元でも議論が白熱しました。文化遺産としての保存か駅前の整備か、過去と未来のせめぎ合い、生活の利便性か歴史文化の保護か。結論は写真を見ての通りになりました。この石垣の前に立つと、あの当手を想像できる場所であることには違いありませんが…

